

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察防除情報第10号

ばれいしょ・ブロッコリー ヨトウムシ類（ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ）、オオタバコガの防除対策について

ばれいしょ・ブロッコリーの圃場においてヨトウムシ類とオオタバコガの発生が多い状況です。今後、被害の増加が予想されますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

- (1) ばれいしょにおける10月前期の巡回調査（19筆）の結果、ヨトウムシ類・オオタバコガの食害株率は25.2%（平年 3.2%）、発生圃場率は94.7%（同 26.9%）であった。また、ヨトウムシ類・オオタバコガの寄生株率は12.3%、寄生圃場率は84.2%であった。
- (2) ブロッコリーにおける10月前期の巡回調査（12筆）の結果、ハスモンヨトウの寄生株率は2.7%（同 2.4%）、発生圃場率は33.3%（同 30.2%）であり、若・中齢主体であった。
シロイチモジヨトウの寄生株率は2.7%（同 1.5%）、発生圃場率は16.7%（同 18.4%）であった。
オオタバコガの寄生株率は4.0%（同 0.4%）、発生圃場率は25.0%（同 8.3%）、一部多発圃場があった。
- (3) ハスモンヨトウのフェロモントラップ（諫早市）の誘殺数は、10月以降急増し2半旬にピークとなり平年より多くなった。3半旬は減少し平年より少なくなっている（図1）。
- (4) シロイチモジヨトウのフェロモントラップ（諫早市）の誘殺数は、平年並で推移していたが、9月5半旬以降急増し10月1半旬にピークとなり平年より多くなった。2半旬以降減少し、平年並となっている（図2）。
- (5) オオタバコガのフェロモントラップ（諫早市）の誘殺数は、10月以降やや増加し、平年並で推移している（図3）。
- (6) 気象予報（福岡管区气象台、令和5年10月12日発表）によると向こう1か月の気温は高く、降水量は少ない見込みであり、本虫の発生に好適である。

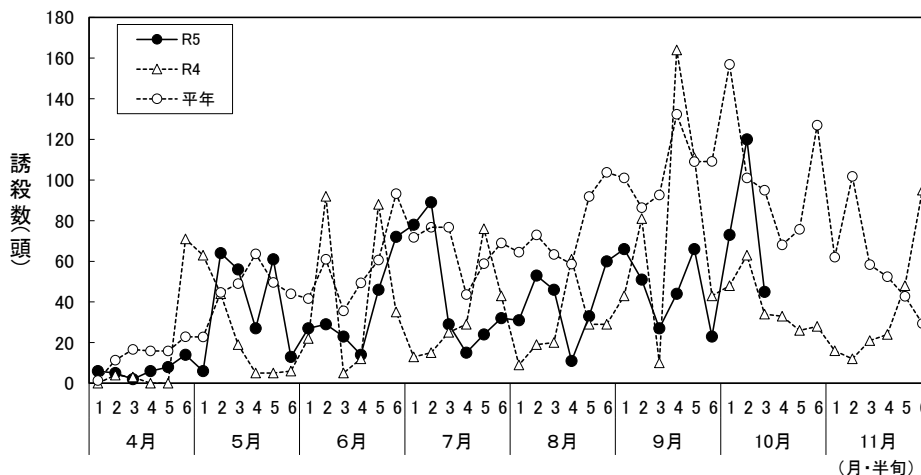


図1 ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況(諫早市小船越町)

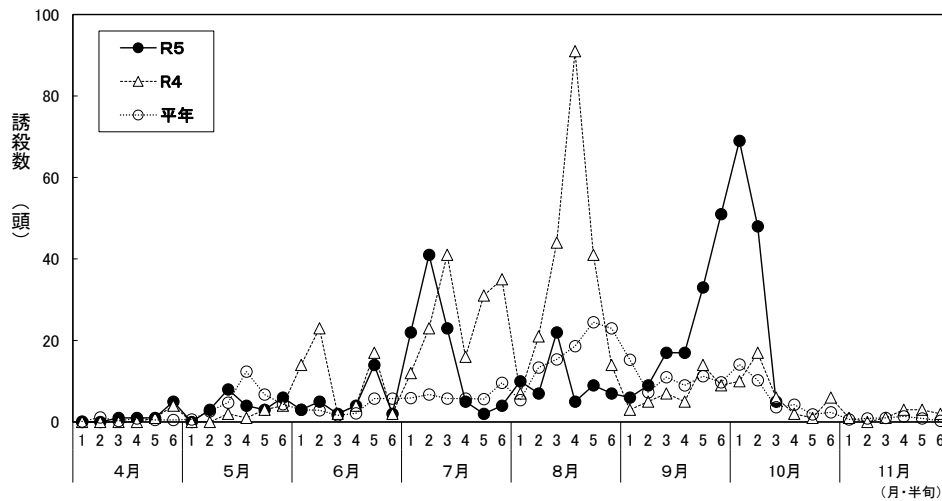


図2 シロイチモジヨトウのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越町）

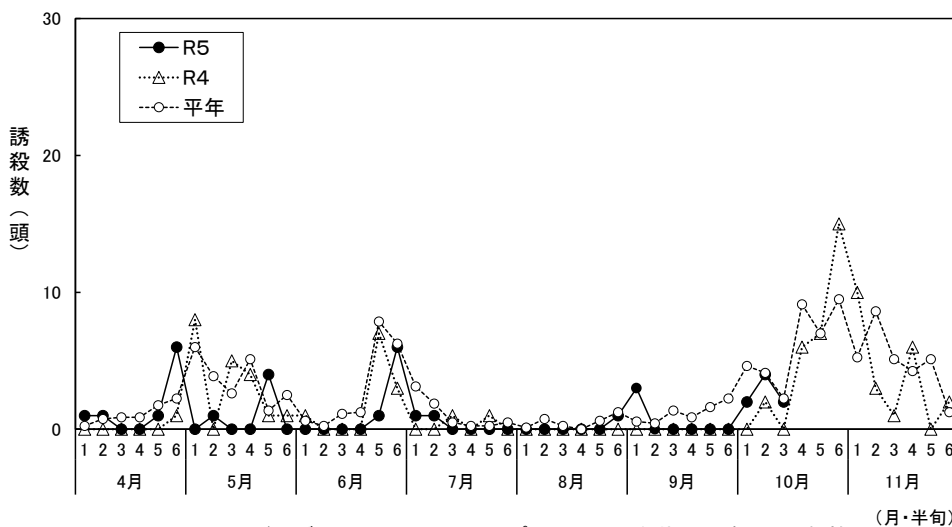


図3 オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺状況（諫早市小船越町）

2. 防除対策

- (1) 圃場の見回りを徹底し早期発見に努め、卵塊や分散前のふ化幼虫は見つけ次第除去し、適切に処分する。
- (2) 幼虫は齢が進むと薬剤の効果が低下するので、若・中齢幼虫期に防除を行う。なお、薬剤は虫体によくかかるよう丁寧に散布する。
- (3) 今後定植するブロッコリーでは、育苗トレイへの灌注や粒剤の株元処理等を徹底し、初期生育期に食害が発生しないよう努める。
- (4) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統薬剤（令和5年長崎県病害虫防除基準ばれいしょ P74～75、ブロッコリーP238～241の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の連用を避け、ローテーション散布する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） TEL：0957-26-0027

